

予算決算常任委員長報告

令和4年3月18日

今期定例会において、予算決算常任委員会に審査付託となりました議案17件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

本委員会では、去る3月9日から16日に委員会を開催し、審査初日には、市長等の出席を求め、会派代表による令和4年度予算に関する総括質疑を行いました。また、各議案の審査においては、担当部局長等の出席を求め、慎重に審査いたしました。

15日には委員会審査から更に議論を必要とするテーマについて、総務・教育民生・産業建設の各分科会を開催し、議員間における自由討議を行いました。これを受け、16日の委員会では、それぞれの討議結果を基にした主査報告が行われ、報告された分科会テーマの一つである「小中学校老朽化対策事業」について、再度全体で自由討議を行い意見の集約を行いました。

議案第1号「令和4年度三次市一般会計予算(案)」外議案15件については、審査の結果、いずれも全員一致をもって原案のとおり可決してよいものと決しました。

次に、議案第8号「令和4年度三次市水道事業会計予算(案)」については、審査の結果、賛成多数をもって原案のとおり可決してよいものと決しました。

各分科会で行われた自由討議でまとめられた意見を申し上げます。

総務分科会は「スポーツのまちみよし応援事業」については、稼ぐ力の創出、三次の元気づくりに繋げてもらいたい。「女子野球タウン・三次」の認定を皮切りに、魅力ある多くのスポーツイベントを通じての取組が、本市のシティプロモーションに十二分に生かされることを期待する。今後、市ホームページのリニューアルにあわせて、他のスポーツイベントの告知や宿泊施設の紹介といった周知の取組の拡大が必要なのではないかという報告がされました。

「自治振興活動費補助事業」については、一律な補助では無く、自分たちの企画と行動に対する補助スキームなども検討してはどうかとの意見が出されたものの、今回、予算提案された人件費部分である運営費増額については、社会情勢や地域の実情を反映された見直しに合致するものであると評価する。これからも、

随時、事業検証を行う中で、効率的・効果的な視点は忘れることなく、それぞれの地域の課題解決や意欲的な取組を応援し、「元気」で「笑顔」あふれる地域づくりに向けて、事業展開されたいとの報告がされました。

教育民生分科会は「小中学校老朽化対策事業」について、早急な対応が必要であるということについては概ね共有するが、小中一貫校として三次中学校と一体的な整備を行うこと、施設の複合化、三次町におけるまちづくりの観点での検討が十分に行われているかといった意見から、学校関係者をはじめ、地域住民や住民自治組織等の理解と協力のもとで事業が進められること、今後も小中学校老朽化対策は必要であり、計画的に取り組まれないこと、議会として引き続き調査が必要であるという報告がされました。

産業建設分科会は「観光推進業務委託事業」及び「観光戦略推進事業」について、一般社団法人三次観光推進機構が新体制としてスタートした後、行政は、活動の状況に応じて、情報発信等の事業を一元化するなど、来年度以降の予算を効率的に編成していくよう精査・検討されたいという意見が出されました。

また、一般社団法人三次観光推進機構が各地域や各関係団体を有機的に繋げ、「稼ぐ力の創出」に向けたDMO本来の役割を果たせるように、行政としての後押しに努められたいという報告がされました。

次に「小中学校老朽化対策事業」をテーマとした全体の自由討議では、三次小学校の建替えは安心安全な子どもたちの学びの場を保障するため早急に実施されなければならないが、予算の執行に当たっては、保護者や地域、議会に対する説明をきちんと行って進められなければならない。また、三次市立小・中学校の規模及び配置の適正化、学校施設の長寿命化計画、三次市公共施設等総合管理計画等を鑑み、今後の小中学校老朽化対策をどう進めるかという長期的な計画が必要であるとの意見も出されました。

これらの議論から、議会に対する三次小学校建替えにかかる全体的な説明と、限られた時間であっても円滑に事業が進められるよう、保護者や地域、住民自治組織等の理解と協力のもと事業実施されることを求めるものであります。

また、全体の審査から、事業の実施に当たっては、より積極的な情報公開に努められること、部局間の連携を密にして効果的な事業執行に努めること、特に、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の執行に当た

っては、その用途の明確化に努め、事業の成果、評価の公表を求める意見がありました。

審査以外の事項について1点お願いさせていただきます。事業の見える化、効率的な審査のために取り組んでいます、事業別審査シートにつきましては、その作成にご協力くださり感謝申し上げます。ただ、一部の部署においては、この取組の趣旨が伝わっていないのか、記載内容の不足が見られるものがありました。この取組は、市民に対しての説明にも繋がるものであり、事業別審査シートの記載にあっては、よりわかりやすいものとするよう更なる取組を期待するものであります。

以上、述べました事項のほか、委員会審査において各委員から述べられた指摘及び意見についても、今後、施策に十分に反映していただくよう要望し、委員長報告を終わります。